# MESSAGE PROCESSING METHOD AND SYSTEM

Publication number: JP9223087 (A)

Also published as:

**B** JP3380884 (B2)

Publication date:

1997-08-26

Inventor(s):

FUKUYAMA NORIYUKI; MURAKAMI MASAHIKO; OKADA

SUMIYO; IWAO TADASHIGE; MORINAGA MASANOBU;

ONOGAWA HIROYUKI; HASEGAWA HIROMI

Applicant(s):

**FUJITSU LTD** 

Classification:

- international:

G06F13/00; G05B15/02; H04L12/54; H04L12/58; G06F13/00;

G05B15/02; H04L12/54; H04L12/58; (IPC1-7): G06F13/00;

G05B15/02; H04L12/54; H04L12/58

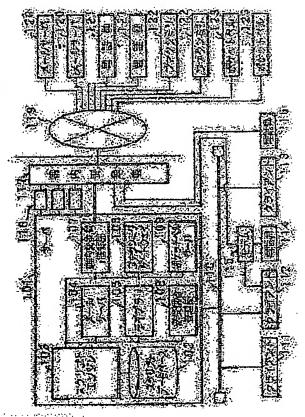
- European:

Application number: JP19960256834 19960927

Priority number(s): JP19960256834 19960927; JP19950321863 19951211

### Abstract of JP 9223087 (A)

PROBLEM TO BE SOLVED: To eliminate such troblesomeness that is caused by the unnecessary incoming notification by setting previously the comparison condition corresponding to the due processing for selection of the processing that is carried out by a received message and then carrying out the processing corresponding to the comparison condition when the received message is coincident with the comparison condition. SOLUTION: The correspondence is previously set on a script data base 102 of a server 101 for every receiving device between the processing to be carried out and the execution condition of the processing set based on the contents of a received message or the receiving state of the message.; A script engine 103 identifies the receiving device of the message when it is received and judges whether the contents of the received message or the message receiving state is coincident with the execution condition set at the identified receiving device. If the coincidence is judged, the processing corresponding to the execution condition is carried out. Thus, the processing is carried out only when the received message is coincident with the execution condition.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19)日本国特許庁 (JP)

# (12) 公開特許公報(A)

(11)特許山頭公開各号

# 特開平9-223087

(43)公開日 平成9年(1997)8月26日

(51) Int.CL*	錄別 <b>記号</b> 3 5 1	庁内整理番号 0860-3H	PΙ		技術表示箇所		
GO 6 F 13/00				3/00	351G A		
G 0 6 B 15/02				15/02			
HO4L 12/54		9468-5K	HO4L I	1/20	101B		
12/58					•		
			審查請求	永舘宋	商泉項の数8	OL (全 10 1	四)
(21)出顧番号	物圈平3 - 258934		(71)出庭人	0000052	23		
				食士政	未式会社		
(22)出題日	平成8年(1995)9月27日			神奈川以	以川崎市中原区」	上小田中4丁目1	北
				1号			
(31)優先権主張番号	<b>特航平7</b> -321863		(72)発明街	福山智	狮		
(32)優先日	平7 (1995)12月11日			ツル交体	以川崎市中原区」	上小田中4丁目1	粉
(33)優先權主張国	日本 (JP)			1号 8	3士通株式会社6	tg	
			(72)発明者	村上 看	<b>但</b>		
				神经川	以川崎市中眾区。	上小田中4丁目1	4
				1号 3	3士通株式会社	4	
			(74)代理人	弁理士	河野 登夫		
		•				最終質に約	を く

#### 現代員に成く

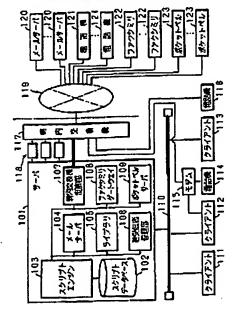
# (54) 【発明の名称】 メッセージ処理方法及びメッセージ処理システム

## (57)【要约】

【課題】 実行すべき処理を対応付けた比較条件を予め 設定しておき、受信メッセージがこの比較条件に合致す る場合にその比較条件に対応付けてある処理を実行する メッセージ処理方法及びンステムの提供。

【解決手段】 電子メールがメールサーバ104に着信したとき、スクリプトエンジン103は電子メールの受信者名から受信装置を特定し、この受信装置に対応付けて設定してあるスクリプトを該出し、このスクリプトに従って処理を実行すべきか否かを判断し、実行する。

#### 水丸にごる様子メールシステムのプロック図



1

#### 【特許請求の萄囲】

【語水項1】 受信装置を指定したメッセージの受信に 応じて、予め設定してある処理を実行する方法におい

受信鉄躍毎に、実行すべき処理と受信メッセージの内容 又はメッセージの受信状況に基づく前記処理の実行条件 とを対応付けて予め設定しておき、前記メッセージを受 信したとき、眩メッセージの受信装置を識別し、受信メ ッセージの内容又はメッセージの受信状況が識別された 受信装置に設定してある実行条件に合致するか否かを判 10 別し、合致すると判別した場合にその実行条件に対応付 けてある処理を実行することを特徴とするメッセージ処

【請求項2】 受信装置を指定したメッセージの受信に 応じて、予め設定した処理を実行する方法において、 受信鉄蹬毎に、実行すべき処理とキーワードとを対応付 けて予め設定しておき、メッセージを受信したとき、該 メッセージの受信装置を識別し、識別された受信装置に 設定してあるキーワードが前記メッセージに含まれるか 否かを判別し、含まれると判別した場合にそのキーワー 20 含まれると判別した場合にそのキーワードに対応付けて Fに対応付けてある処理を実行することを特徴とするメ ッセージ処理方法。

【請求項3】 受信装置を指定したメッセージの受信に 応じて、予め設定した処理を実行する方法において、 受信装置毎に、実行すべき処理と時間帯とを対応付けて 予め設定しておき、メッセージを受信したとき、該メッ セージの受信時刻を判定し、該メッセージの受信装置を 識別して、識別された受信執置に設定してある前記受信 時刻が属する時間帯に対応付けて設定してある処理を真 行することを特徴とするメッセージ処理方法。

【鶴水項4】 サーバを指定した電子メールの受債に応 じて、予め設定してある処理を実行する方法において、 サーバ毎に、実行すべき処理と受信電子メールの内容又 は電子メールの受信状況に基づく前記処理の実行条件と を対応付けて予め設定しておき、前記電子メールを受信 したとき、該電子メールを受信したサーバを識別し、受 個電子メールの内容又は電子メールの受信状況が識別さ れたサーバに設定してある実行条件に合致するか否かを 判別し、台致すると判別した場合にその実行条件に対応 处理方法。

【語水項5】 複数の受信鉄體と接続してあり、前記受 信鉄圏毎に真行すべき処理を予め設定しておき、通信網 から入力された受信装置を指定したメッセージの受信に 応じて予め設定した処理を実行するメッセージ処理シス テムにおいて、

受信鉄置毎に、実行すべき処理と受信メッセージの内容 又はメッセージの受信状況に基づく前記処理の実行条件 とを対応付けて記憶しておく音換え可能な記憶手段と、 受情メッセージに指定してある受信装置を識別する手段 50 実行条件に台致するか否かを判別する手段と、

(2)

受償メッセージの内容又はメッセージの受信状況が識別 された受信装置に対応付けて前記記憶手段に記憶してあ る実行条件に合致するか否かを判別する手段と、

台数すると判別した場合にその実行条件に対応付けてあ る処理を実行する手段とを備えることを特徴とするメッ セージ処理システム。

【請求項6】 複数の受信鉄匠と接続してあり、前記受 信装置毎に実行すべき処理を予め設定しておき、通信網 から入力された受信装置を指定したメッセージの受信に 応じて予め設定した処理を実行するメッセージ処理シス テムじおいて

受信鉄置毎に、実行すべき処理とキーワードとを対応付 けて記憶しておく音換え可能な記憶手段と、

受信メッセージに指定してある受信装置を識別する手段

協別された受信装置に対応付けて前記記憶手段に記憶し てあるキーワードが前起メッセージに含まれるか否かを 判別する手段と.

ある処理を実行する手段とを備えることを特徴とするメ ッセージ処理ンステム。

【請求項7】 複数の受信鉄蹬と接続してあり、前配受 信鉄置毎に実行すべき処理を予め設定しておき、道信網 から入力された受信装置を指定したメッセージの受信に 応じて予め設定した処理を実行するメッセージ処理シス テムにおいて

受信装置毎に、実行すべき処理と時間帯とを対応付けて 記憶しておく書換え可能な記憶手段と、

30 メッセージの受信時刻を判定する手段と、

受信メッセージに指定してある受信装置を識別する手段

協別された受信装置に対応付けて前記記憶手段に記憶し てある、前記受信時刻が戻する時間帯を識別する手段 ٤.

識別した時間帯に対応付けてある処理を実行する手段と を備えることを特徴とするメッセージ処理システム。

【詰求項8】 複数のサーバと接続してあり、前記サー バ毎に実行すべき処理を予め設定しておき、通信額から 付けてある処理を実行することを特徴とする電子メール 40 入力されたサーバを指定した電子メールの受信に応じて 予め設定した処理を実行する電子メール処理システムに おいて、

> サーバ毎に、実行すべき処理と受信電子メールの内容又 は電子メールの受信状況に益づく前記処理の真行条件と を対応付けて記憶しておく霊換え可能な記憶手段と、 受信電子メールに指定してあるサーバを協別する手段

> 受信電子メールの内容又は電子メールの受信状況が識別 されたサーバに対応付けて前記記憶手段に記憶してある

> > 1/22/2009 3:46 PI

(3)

台致すると判別した場合にその真行条件に対応付けてあ る処理を実行する手段とを備えることを特徴とする電子 メール処理システム。

#### 【発明の詳細な説明】

[0001]

【呉明の属する技術分野】本発明は、公衆電話網を介し て外部の情報伝達手段とネットワーク接続してあるコン ビュータが受信したメッセージに応じて処理を選択し寒 行するメッセージ処理方法及び該方法の実施に使用する メッセージ処理システムに関する。

#### [0002]

【従来の技術及び発明が解決しようとする課題】情報伝 **達手段として電話機、ファクシミリ、ポケットベルがあ** る。近年、ある目的のためにこれらの情報伝達手段を組 台せ、連携して作動させることによって新しい機能効果 を発揮する装置が知られている。例えば、四守番電話機 であって、ボケットベルと組合わせ、メッセージを録音 したことをポケットベルへ通知する機能を有する電話機 がその一例である。この電話機には追知機能の使用に先 立って通知先のポケットベルの香母を予め設定してお く、そしてこの電話機は留守香機能によりメッセージを 録音したとき、予め設定してある香号のポケットベルを 自助的に呼び出す。ボケットベルを持つ者は、この電話 機から呼び出されることによってメッセージが録音され たことを知ることができるのである。

【0003】他の情報伝達手段として公衆電話網を介し てネットワーク接続されたコンピュータによる電子メー ルンステムがある。図7は電子メールンステムを含む従 来の通信システムのシステム構成図である。図において 4.0 1は電話機、4.0 2はファクシミリ、4.0 3はポケ 30 ットベル、404は電子メールを送受信する電子メール システムである。電話銭401、ファクシミリ402、 ボケットベル403を呼出すボケットベルセンタ(図示 せず)及び電子メールシステム404は公衆電話網を介 して互いに接続されている。

【0004】前述の従来の通信システムは電話機401 とポケットベル403とを迫携させた上述のメッセージ 録音通知機能、ファクシミリ402と電子メールンステ ム404とを迫拐させてファクシミリ402から送信さ れたファクシミリ信号を電子メールシステム404にお 40 いて電子メールとして受信する機能及び電子メールシス テム404からの電子メールをファクシミリ信号にして ファクシミリ402へ送信する機能を育する。

【り005】また電子メールシステム404とポケット ベル403とを迫携させて電子メールンステム404に 電子メールが着信したことをポケットベル403へ通知 する電子メール若信通知機能がある。

【0006】上述の電子メールシステムに本願出願人が 製造、販売するTeamOFFICEがある。Team

work)上に電子メールンステムとを主とするクライ アント/サーバ型のシステムを格築するソフトウエアで

【0007】図8は上述の電子メールシステムの概念図 である。図において501はサーバであって、サーバ5 01、クライアント502、503はいずれもどく小規 榿な区域、例えば同一の建物内に設置されてあり、LA N504に接続してある。同様にサーバ505. クライ アント506、507はいずれもサーバ501とは別の 19 場所に設置されており、LAN508に接続してある。 サーバ501及びサーバ505は図示しない公衆電話網 を介して通信サービス会社に設置してあるホストコンピ ュータ509と接続しており、ホストコンピュータ50 9を介して互いに電子メールの送受信を可能になしてあ る。TeamOFFICEのプログラムはLAN50 4.508に接続しているサーバ及びクライアントのそ れぞれにおいてロードされている。

[0008] またターミナル510.511は前述した コンピュータとは異なる場所に設置してあるコンピュー 20 夕であって、いずれも図示しない公衆電話網を介してホ ストコンピュータ509と接続している。ターミナル5 10、511はそのそれぞれにおいて実行させるプログ ラムによって、ホストコンピュータ509と接続する他 のコンピュータと電子メールの送受信が可能である。さ ちにホストコンピュータ509は図示しない公衆電話網 を介して別の通信サービス会社に設置してあるポケット ベルセンタ512と接続されている。ホストコンピュー タ509はポケットベルセンタ512を介してポケット ベル513を呼出すべくなしてある。

【0009】前述したTeamOFFICEを含む電子 メールシステムは、サーバに電子メールが若信したと き、このことを直ちにこの電子メールを受信すべきクラ イアントへ通知する。このときクライアントの電纜がオ つにしてある場合、このクライアントに電子メールを受 **健する者は電子メールの若信を知ることができない。こ** の様な不都合を解消するサービスが電子メール若信通知 サービスである。クライアント503に電子メールを受 食する者はホストコンピュータ509にポケットベル5 13の香号及び電子メール着信通知サービスの利用を予 め設定し、そのポケットベル513を携帯しておく。こ の状況においてターミナル511からクライアント50 3へ電子メールが送信された場合、ホストコンピュータ 509はクライアント503のメールサーバであるサー バ501へ電子メールを送信する一方で、設定してある ポケットベル513の各号によりポケットベルセンタ5 12を介してポケットベル513を呼出す。ポケットベ ル513のディスプレイには電子メールの者信を通知す る定型のメッセージが表示され、この表示によりポケッ トベル513を持つ者はクライアント503の電源オン OFFICEはLAN(Local Area Net 50 /オブに関係なく電子メールの者信を知ることができる

(4)

のである。

【0010】前述の電子メール者信道知サービスは、メールサーバ同士がいずれも同一のホストコンピュータと接続し、このホストコンピュータが公衆電話網と接続し、さちにこの公衆電話網にはボケットベルセンタが接続されてあって、前記メールサーバ同士が前記ホストコンピュータを追じて電子メールの送受信が可能であり、かつ、前記ホストコンピュータがボケットベルセンタを通じてボケットベルを呼出すことが可能であることが不可欠である。

5

【0011】従ってメールサーバ同士を前述の如くホストコンピュータを介さずに接続した場合は電子メール者信道知サービスが利用できない。また、前述の電子メールを信道知サービスは者信を通知すべき電子メールを治別していないので、例えば至急の電子メールの着信と不息の電子メールの対像とは全く同様に扱われ、いずれの場合も同様の通知を行う。従って外出時等にボケットベルによる至急の電子メールの母信通知を待っている状況において不要な着信通知により煩わされることにならた、前述の電子メール若信通知サービスにおいて、時間帯に応じて異なる通知先に着信通知させたい場合、ホストコンピュータ509に設定してある通知先を時間帯毎に変更する以外に方法はなく、煩わしい。

【0012】本発明は前述の従来の通信システムを発展させるべくなされたものであって、例えば電子メール程信通知については、君信した電子メールに所定のキーワードが含まれる場合にのみポケットベルに通知するといった様に受信装置毎に実行すべき処理の実行条件を設定しておき、受情メッセージが実行条件に合致する場合にのみ処理を実行するメッセージ処理方法及びメッセージ処理システムの提供を目的とする。また、受信装置毎に実行すべき処理の実行条件として時間帯を設定しておき、メッセージを受信した時刻が属する時間帯に設定してある処理を実行するメッセージ処理方法及びメッセージ処理システムの提供を目的とする。

# [0013]

【課題を解決するための手段】第1 発明に係るメッセージ処理方法は、受信装置毎に、哀行すべき処理と受信メッセージの内容又はメッセージの受信状況に基づく前記処理の哀行条件とを対応付けて予め設定しておき、前記 40 メッセージを受信したとき、故メッセージの受信装置を協別し、受信メッセージの内容又はメッセージの受信状況が協則された受信装置に設定してある哀行条件に合致するか否かを判別し、合致すると判別した場合にその実行条件に対応付けてある処理を実行することを特徴とする。

(0014) 第2発明に係るメッセージ処理方法は、受信鉄圏毎に、実行すべき処理とキーワードとを対応付けて予め設定しておき、メッセージを受信したとき、該メッセージの受信鉄圏を裁別し、識別された受信鉄圏に数 50

定してあるキーワードが前記メッセージに含まれるか否かを判別し、含まれると判別した場合にそのキーワード に対応付けてある処理を実行することを特徴とする。

【0015】第3発明に係るメッセージ処理方法は、受信禁選等に、実行すべき処理と時間帯とを対応付けて予め設定しておき、メッセージを受慮したとき、酸メッセージの受健時刻を判定し、酸メッセージの受健時間を協助して、識別された受信禁匿に設定してある前記受健時刻が戻する時間帯に対応付けて設定してある処理を真行10 することを特徴とする。

【0016】第4発明に係る電子メール処理方法は、サーバを指定した電子メールの受信に応じて、予め設定してある処理を実行する方法において、サーバ毎に、裏行すべき処理と受信電子メールの内容又は電子メールの受信状況に基づく前記処理の実行条件とを対応付けて予め設定しておき、前記電子メールを受信したとき、該電子メールを受信したサーバを識別し、受信電子メールの内容又は電子メールの受信状況が識別されたサーバに設定してある裏行条件に合致するか否かを判別し、合致すると判別した場合にその実行条件に対応付けてある処理を実行することを特徴とする。

【①①17】第5 発明に係るメッセージ処理システムは、受信装置毎に、実行すべき処理と受信メッセージの内容又はメッセージの受信状況に基づく前記処理の実行会件とを対応付けて記憶しておく音換え可能な記憶手段と、受信メッセージの内容又はメッセージの受信状況が識別された受信装置に対応付けて前記記憶手段に記憶してある実行条件に合致するか否かを判別する手段と、合致すると判別した場合にその実行条件に対応付けてある処理を実行する手段とを備えることを特徴とする

【0018】第6発明に係るメッセージ処理システムは、受信装置毎に、実行すべき処理とキーワードとを対応付けて記憶しておく音換え可能な記憶手段と、受信メッセージに指定してある受信装置を識別する手段と、協別された受信装置に対応付けて前記記憶手段に記憶してあるキーワードが前記メッセージに含まれるか否かを判別する手段と、含まれると判別した場合にそのキーワードに対応付けてある処理を実行する手段とを備えることを特徴とする。

【0019】第7発明に係るメッセージ処理システムは、受信装置毎に、実行すべき処理と時間帯とを対応付けて記憶しておく音換え可能な記憶手段と、メッセージの受信時刻を判定する手段と、受信メッセージに指定してある受信装置を協則する手段と、識別された受信装置に対応付けて前記記憶手段に記憶してある、前記受信時刻が戻する時間帯を協則する手段と、識別した時間帯に対応付けてある処理を実行する手段とを備えることを特徴とする。

特別平9-223087

(5)

【0020】第8発明に係る電子メール処理システム は、複数のサーバと接続してあり、前記サーバ毎に実行 すべき処理を予め設定しておき、通信網から入力された サーバを指定した電子メールの受信に応じて予め設定し た処理を実行する電子メール処理システムにおいて、サ ーバ毎に、真行すべき処理と受信電子メールの内容又は 電子メールの発信状況に基づく前記処理の真行条件とを 対応付けて記憶しておく告換え可能な記憶手段と、受信 **電子メールに指定してあるサーバを識別する手段と、受** 信電子メールの内容又は電子メールの受信状況が説別さ 10 者信をポケットベルによって即時に知ることができる。 れたサーバに対応付けて前記記憶手段に記憶してある寒 行条件に合致するか否かを判別する手段と、 合致する と判別した場合にその実行条件に対応付けてある処理を 真行する手段とを備えることを特徴とする。

【0021】図6は第1発明、第4発明、第5発明及び 第8発明のメッセージ処理の概念図であって、電子メー ルの若信を通知する処理を表している。図において60 1及び602は電子メールを送受信するサーバである。 サーバ602、クライアント604、604…は本発明 に係る電子メールシステムを構成している。サーバ60 20 2には電子メールを受信したクライアント604、60 4…に対応付けて設定する実行すべき処理の実行条件と してのスクリプトを記憶させておくスクリプトデータベ ース603が設けてある。スクリプトはオペレータによ りサーバ602の図示しない入力手段により入力され る。サーバ602は構内交換機606と接続している。 機内交換機606は図示しない公衆電話網と接続してい る。公衆電話網にはポケットベルセンタ607及び電話 機608が接続されている。ポケットベル805はポケ ットベルセンタ607から呼出される。また電話機60 30 8は電話の発信により点灯するランプを備える。

【0022】以下に第2発明及び第6発明のメッセージ 処理による処理を対応付けたキーワードをスクリプトと して使用する場合について説明する。とこで受信装置で あるクライアント604における実行すべき処理及び該 処理を実行する条件(スクリプト)をそれぞれポケット ベル605を鳴動させ、若信した電子メールの題名を電 子メールのヘッダ部から抜き出してきてポケットベル6 0.5のディスプレイに表示させる処理及び電子メールの ヘッダ部の送信者名に「福山」を含むクライアント60 40 である。 4 宛の電子メールがサーバ6()2 に若信したときとし て、スクリプトデータベース603に設定されているも のとする。

【0023】サーバ601からクライアント604へ電 子メールが送信され、サーバ602がこの電子メールを 受償したとき、サーバ602は受償した電子メールの送 信者に"悟山"が含まれるか否かを判別する。含まれる と判別した場合は、ボケットベル605を呼出してこの 電子メールの題名をポケットベル605へ送信し、その ディスプレイに表示させる。ボケットベル805を携帯 50

する者はポケットベル805の鳴動によって電子メール の着信を知り、ポケットベル605のディスプレイの表 示を見て岩信した電子メールの題名を知ることができ る。なお、送信者名に"領山"が含まれない場合はポケ ットベルを呼出さない。

【0024】前途の如く電子メールとポケットベルとを 連携させることにより、電子メールの受信者は、電子メ ールを受信すべきクライアントの電源がオフになってい る場合であっても、所望の条件に合致する電子メールの この電子メール若健通知処理は、例えば「椙山」からの 電子メールは急を要するのでその者信道知を望むが、他 の人からの電子メールによって着電道知されることは望 まない場合において有効である。

【0025】また、前述の電子メール着信通知処理はサ ーパがポケットベルを呼出すべくなすことにより、従来 の通償システムにおいてポケットベルの呼出しを行って いたホストコンピュータを必要としないという利点があ る.

【0026】次に、第3発明及び第7発明のメッセージ 処理による時間帯毎に処理を対応付けたスクリプトを使 用する場合について説明する。ここで9時から17時の 助務時間中はポケットベル607を携帯し、17時以降 の勤務時間外には電話機608がある場所にいる者がク ライアント604宛の電子メールの着僧を知る場合を想 定し、時間帯が9時から17時であればポケットベル6 () 7を呼出し、時間帯が、17時から9時であれば電話機 608のランプを点灯させることを設定してあるものと する。サーバ601からクライアント604へ電子メー ルが送信され、サーバ802がこの電子メールを受信し たとき、サーバ602は受信時刻を判定して、この受債 時刻が届する時間帯を識別する。識別した時間帯が勤務 時間中であればポケットベルを呼出して電子メールの君 億を通知する。識別した時間帯が動務時間外であれば、 **電話機608のランプを点灯させて電子メールの着信を** 通知する。

【0027】以上の様に電子メールの着信に対して時間 帯毎に異なる処理を実行させることができるので、時間 帯に応じて真行すべき処理を切替える状況において有効

[0028]

【発明の真施の形態】図1は本発明に係る電子メールシ ステムのブロック図である。図において101は建物の 枠内に格築されたLANのサーバである。 サーバ 10-1 の主要部を機能ブロック図で示してある。スクリプトデ ータベース102はこの電子メールンステムによって提 供されるサービスの内容及びこの内容と対応させた前記 サービスの裏行条件を記憶する。スクリプトエンジン1 03はこの電子メールシステムの主制砂部であって、メ ッセージを受信し、受信したメッセージがスクリプトデ (6)

10

特閑平9-223087

10

ータベース102に設定してある処理の実行条件に該当 するか否かを判別して、眩当すると判別した場合は、そ の処理を実行する指令を生成し、その処理を実行する実 行手段へ出力する。

【0029】サーバ101には更に公衆電話網を介して 接続してある外部のメールサーバと電子メールの授受を 行うメールサーバ104、同じLANに接続しているク ライアント間で共用する文書を記憶するライブラリ10 5及び電子メールの送信者及び受信者に関する情報を管 選する送受信者管理部106を設けてある。

【0030】送受信者管理部106には送信者又は受信 者となる登録ユーザ名、登録ユーザの電話番号、登録ユ ーザのファクシミリ香号、登録ユーザのボケットベル香 号及び電子メール者信通知処理等のサービスの使用許可 等の情報が記憶させてあって、スクリプトエンジン10 3又はメールサーバ104等から参照可能になしてあ ъ.

【0031】また、サーバ101には後述の格内交換機 117を制御する構内交換機制御部107、電子メール をファクシミリに送信するときの信号変換及びファクシ 20 ミリ信号を電子メールとして受信するためのファクシミ リゲートウェイ108及びポケットベルの呼出しを行う ポケットベルサーバ109を設けてある。サーバ101 はLAN110に接続してあって、同じぐLAN110 に接続してあるクライアント111、112、113か ち送受信者管理部1()6に登録してある登録ユーザの電 話番号を照会する機能を得している。 クライアント11 2及び電話機114はクライアント112からオートダ イアルするためのモデム115を介して楷内交換機11\*

【嵌1】

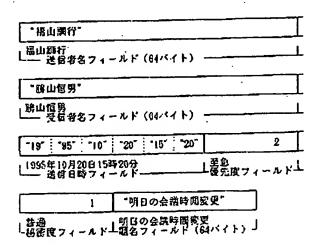
\*7と接続されている。電話機116は構内交換機117 と直接接続されている。

【0032】サーバ101は電話の着僧を受ける回線制 御鉄置118と接続している。回線制御装置118は構 内交換機117と接続している。標内交換機117は公 衆電話網119と接続している。公衆電話網119には メールサーバ120,…,120、電話級121、…, 121、ファクンミリ122, …, 122及び図示しな いポケットベルセンタが接続されている。ポケットベル - 123, …, 123は図示しないポケットベルセンタか ち無線で呼出される。

【0033】次に前述の電子メールンステムが提供する 連携サービスの一例を図1に基づき説明する。電子メー ル若信通知サービスは電子メールがメールサーバ104 に着僧したとき受信した電子メールの内容又は電子メー ルの受信状況がスクリプトデータベース102に設定し てある条件を満たした場合に、予め条件と対応付けて設 定してある通知先へ所定の手段を用いて電子メールが君 信したことを通知するサービスである。表1は受信した 電子メールのヘッダの一例及びその電子メールを受信し たときに発行されるイベントメッセージを示す衷であ る。表1に示す機に電子メールのヘッダには先頭から順 に送信者名、受信者名、送信日時、優先度、秘密度及び 題名が記されている。またイベントメッセージの各フィー ールドは電子メールのヘッダの各項目と対応しており、 その情報を格的している。

[0034]

【表1】



[0035] 図2はスクリプトデータベース102に記 催させたスクリプトの一例を示す図表である。 図2に示 す様に先頭から順にスクリプト番号、受信装置、実行会 件及び実行すべき処理が記されている。

【0036】1番のスクリプトは裏行条件をクライアン ト111元に若信した電子メールの送信者名に「鵠山」 が含まれることと定め、この条件を満たす場合に実行す 50 べき処理を所定のポケットベル123を呼出して通知す (7)

ると共に、この留子メールの題名情報をマクロ処理によ ってコピーし、ポケットベル123のディスプレイに衰 示することと設定してある。2番のスクリプトは実行外 件をクライアント111宛に着信した電子メールの送信 者名に"山本"が含まれることと定め、この条件を満た す場合に実行すべき処理を所定のボケットベル123を 呼出して通知すると共に、との電子メールの送倡者名情 総からマクロ処理によってその送信者の内観番号を求 め、ポケットベル123のディスプレイに衰示すること と設定してある。

11

【0037】前途したところの2つのマクロ処理は、い ずれも通知内容を指定するためのものであって、それぞ れイベントメッセージの所定のフィールドの内容をコピ ーするコピーマクロ及びイベントメッセージの所定のフ ィールドの内容と対応する情報を他のデータベース(こ こでは送受信者管理部106)から引き出して使用する 変換マクロである。

【0038】3番のスクリプトは実行条件をクライアン ト112宛に着信した電子メールの着信時刻が9時から 実行すべき処理を所定のポケットベル123を呼出して 定型文により電子メールの着信を通知することと設定し てある。4番のスクリプトは実行条件をクライアント1 12宛に君信した電子メールの君信時刻が17時から翌 日の9時の間であることと定め、この条件を満たす場合 ・に実行すべき処理を所定の電話機121を呼出して通知 すると設定してあるものとする。

【0039】またこれらのスクリプトにはその項目数情 報及び各項目毎のデータ長情報並びにマクロ処理である か否かを示すフラグ情報を記述してあって、しかもこれ 30 ちの情報に基づき各項目を識別するように構成してある ので、設定できる項目数及びデータ長は可変である。

[()()4()] 図3は前述の電子メール着信通知処理の処 選手順を示すフローチャートである。 とこでは 1 番及び 2番のスクリプトに従ってクライアント111宛の電子 メール者俚通知処理を行うものとする。 哀 1 に示す電子 メールがメールサーバ104に岩信したとき、スクリプ トエンジン1()3は電子メールの受信者名から受信装置 をクライアント111と特定する(\$201)。このク ライアント111に対応付けて予め設定してある前述の 40 スクリプトをスクリプトデータベース102から読出す (\$202)。そして該出したスクリプトに従って、電 子メールの送信者名に「編山"又は"山本"が含まれる か否かを判別し(S203)、この場合、1番のスクリ プトの"悟山"に該当するので、この条件を満たす場合 に実行すべき題名通知マクロ処理を行う(S204)。 即ち、所定のポケットベル123を呼出して電子メール の若信を通知すると共に、電子メールのヘッダから題名 "明日の会議時間変更"を取込んでポケットベル123

12 おいて "福山" 及び "山本" が含まれないと判別した場 台は、ポケットベル123を呼出さない。

【0041】図4は5204におけるスクリプトに指定 された処理の実行の処理手順を示すフローチャートであ る。まずフラグ情報に基づき対象の処理がマクロ処理で あるか否かを判別する(S701)。マクロ処理である 場合、その種類がコピーマクロであるか変換マクロであ るかを判別して(S702)、コピーマクロであるとき はイベントメッセージの所定のフィールドの内容を処理 19 の実行を指令するためのサービスメッセージの通知内容 フィールドにコピーする(S703)。そして対象の処 理が他にあるか否かを判別し(S704)、ない場合は サービスメッセージを発行して処理を実行する(STO 5)。\$704において対象の処理が他にあると判別し た場合は、S701へ処理を戻し、以降の処理手順を経 り返す。S701においてマクロ処理でないと判別した 場合は、S704へ処理を移行する。またS702にお いて変換マクロであると判別した場合は、イベントメッ セージの所定のフィールドの内容を参照し、これと対応 17時の間であることと定め、この条件を満たす場合に 20 する情報を送受信者管理部10.8から引き出し、この情 親を通知すべきメッセージとして(変換)、サービスメ ッセージの通知内容フィールドに格納する(S70 8)。そしてS704へ処理を移行する。

【①①42】なお、電子メールが岩僧したとき、クライ アント111においては従来と同様の着信通知が行われ る。すなわち、クライアント111の電源がオンの場合 は直ちに君信道知を行い、電源がオフの場合は次回にク ライアント111の電源をオンにしたときにその着信を 通知する。

【① 0.4.3】図5は前述の電子メール若は通知処理の他 の処理手順を示すフローチャートである。ここでは、前 述した図2の3番及び4番のスクリプトに従ってクライ アント112宛の電子メール者信通知処理を行うものと する。 衰1に示す電子メールがメールサーバ104に着 借したとき、スクリプトエンジン103は電子メールの 受信者名から受信装置をクライアント112と特定する (\$301)。とのクライアント112に対応付けて予 め設定してある前述のスクリプトをスクリプトデータベ ース102から読出す(S302)。 そして読出したス クリプトに従って、まず電子メールの着信時刻を、自ら に設けてある時計によって判定する(S303)。

[0044] 次に者健時刻が3番のスクリプトの時間帯 (9時から17時)に属するか否かを判別し(\$30 4)、届さないと判別した場合は、4番のスクリプトの 時間帯(17時から翌日の9時)に関するか否かを判別 する (S3()5)。 者信時刻が4番のスクリプトの時間 帯に関する場合は、電話機121を呼出してランプを点 灯させて電子メールの着信を通知する(S307)。

【0045】S304において君信時刻が3香のスクリ へ転送し、そのディスプレイに表示させる。S203に 50 プトの時間帯に戻すると判別した場合はポケットベル1

1/22/2009 3:49 F

(8)

特闘平9-223087

14

23を呼出して電子メールの者信を通知する(S306)。またこの例においてはS305によって着信時刻が4番のスクリプトの時間帯に届さないと判別することは有り得ないが、仮に全てのスクリプトの条件の中に台致するものがない場合は、ボケットベル123又は電話級121を呼出すことは行わない。

13

【0046】なお、電子メールが着借したとき、クライアント112においては従来と同様の着信連知が行われる。すなわち、クライアント112の電源がオンの場合は直ちに者信道知を行い、電源がオフの場合は次回にク 10ライアント112の電源をオンにしたときにその着信を通知する。

### [0047]

【発明の効果】以上のように本発明によれば、受信メッセージにより実行する処理を選択するために、処理と対応付けた比較条件を予め設定しておき、受信メッセージがとの比較条件に合致する場合にその比較条件に対応付けてある処理を実行することにより、設定しておく比較条件又はこれに対応付ける処理を変更するだけでメッセージにより実行される処理の変更が容易に行える。また、キーワードを受信装置毎に設定することにより、受信装置に応じて提供するサービスを設定できる。さらに、時間帯毎に異なる処理を対応付けることにより、メ\*

[図2]

#### 本発明に導るスクリプトの一例を示す図表

# <u></u>	S 45 50	別の第 -035051×××× (ボケットペル) あ知の略-内部自用「マロ処理」	Much -035051×××× (ポケットペル) 近405年-記型文	遊和先 -078934×××× (電路) 道対内格-5ンプ点灯	高四次 -078934×××× (最高) 進和政略-5ンプ組の	
生行多件	这后望名—" 强川"	送倡省名一, 山本。	位に 1~第5~非成的	月日第一17億-9日	<b>图名→</b> * 会选。	
配件型等	954PVF111		5547VF112		クライアント113 昭名 全盤(	
0 W	-	2	6	•	2	

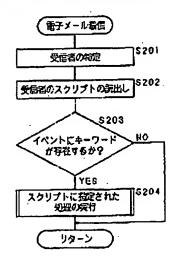
\* ッセージを受信した時間帯に応じて提供するサービスを 設定できる。

## 【図面の簡単な説明】

- 【図1】本発明に係る電子メールシステムのブロック図である。
- 【図2】本発明に係るスクリプトの一例を示す図表である。
- 【図3】本発明に係るメッセージ処理の処理手順を示す フローチャートである。
- 【図4】スクリプトに指定された処理の実行の処理手順を示すフローチャートである。
  - 【図5】 玄発明に係るメッセージ処理の処理手順を示す フローチャートである。
  - 【図6】本発明に係るメッセージ処理の概念図である。
  - 【図7】従来の道館システムのシステム構成図である。
  - 【図8】従来の電子メールンステムの概念図である。 【符号の説明】
  - 102 スクリプトデータベース
  - 103 スクリプトエンジン
- 104, 120 メールサーバ
- 109 ポケットベルサーバ
- 123 ポケットベル

## (図3)

# 本発明に係るメッセージ処理の処理手順を示すフローデャート

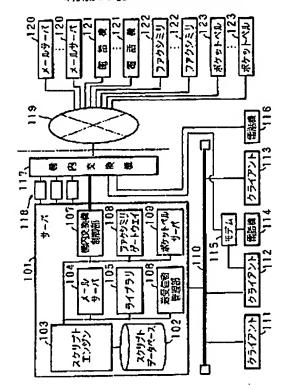


特闘平9-223087

(9)

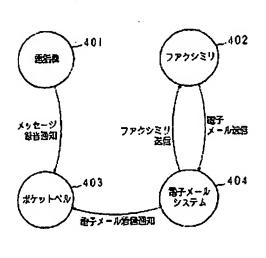
【図1】

木発明に係る電子メールシステムのプロック圏



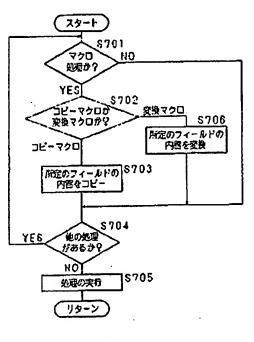
(図?)

従来の通信システムのシステム情報図



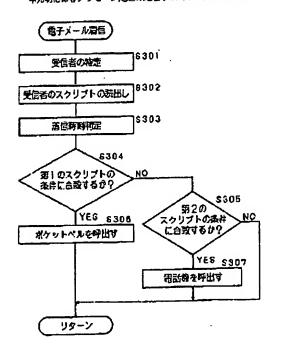
[图4]

スクリプトに指定された処理の実行の処理手項を示すフローチャート



【図5】

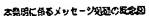
本発明に係るメッセージ処理の処理手順を示すフローチャート

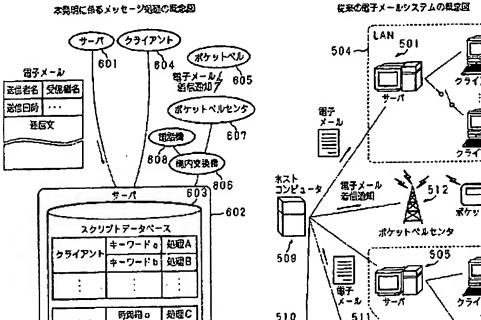


【図8】

(10)

【図6】





## フロントページの続き

(72) 発明者 岡田 純代

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番

1号 富士通妹式会社内

特圖蒂 d

处理D

(72)発明者 岩尾 忠重

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番

1号 富士道株式会社内

(72) 発明者 森永 正信

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番

1号 宫士道株式会社内

505

(72) 呉明者 小野川 浩之

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番

1号 宫士迫妹式会社内

(72)発明者 長谷川 博己

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番

1号 宫士通妹式会社内

特闘平9-223087

【公報復別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載 【部門区分】第6部門第3区分 【発行日】平成13年2月16日(2001.2.16)

[公開香母] 特開平9-223087

【公開日】平成9年8月26日(1997.8.26)

【年通号数】公開特許公報9-2231

【出願香号】特願平8-256834

【国際特許分類第7版】

G06F 13/00 351

G058 15/02

H04L 12/54

12/58

[FI]

G06F 13/09 351 G

G058 15/02

H04L 11/20 101 B

#### 【手統領正書】

[提出日] 平成11年10月13日(1999.10.13)

【手統領正 1 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正内容】

【特許請求の範囲】

(請求項1) 受信装置を指定したメッセージの受信に 応じて、予め設定してある処理を実行する方法におい て

受信鉄置毎に、実行すべき処理と受信メッセージの内容 又はメッセージの受信状況に基づく前記処理の実行会件 とを対応付けて予め設定しておき、前記メッセージを受 信したとき、該メッセージの受信装置を識別し、受信メ ッセージの内容又はメッセージの受信状況が識別された 受信装置に設定してある実行条件に合致するか否かを判 別し、台致すると判別した場合にその実行条件に対応付 けてある処理を実行することを特徴とするメッセージ処 細方法

(請求項2) 発信整置を指定したメッセージの受信に応じて、予め設定した処理を実行する方法において、 受信禁題毎に、実行すべき処理とキーワードとを対応付けて予め設定しておき、メッセージを受信したとき、該 メッセージの受信装置を識別し、識別された受信装置に 設定してあるキーワードが前記メッセージに含まれるか 否かを判別し、含まれると判別した場合にそのキーワードに対応付けてある処理を実行することを特徴とするメッセージ処理方法。

【請求項3】 受信装置を指定したメッセージの受信に 応じて、予め設定した処理を真行する方法において、 受信鉄置毎に、実行すべき処理と時間帯とを対応付けて 予め設定しておき、メッセージを受信したとき、眩メッ セージの受信時刻を判定し、該メッセージの受信鉄置を 識別して、識別された受信鉄置に設定してある前記受信 時刻が届する時間帯に対応付けて設定してある処理を実 行することを特徴とするメッセージ処理方法。

【請求項4】 サーバを指定した電子メールの発信に応じて、予め設定してある処理を実行する方法において、サーバ毎に、実行すべき処理と受信電子メールの内容又は電子メールの受信状況に基づく前記処理の実行条件とを対応付けて予め設定しておき、前記電子メールを受信したとき、該電子メールを受信したサーバを協別し、受信電子メールの内容又は電子メールの受信状況が識別されたサーバに設定してある実行条件に合致するか否かを判別し、合致すると判別した場合にその実行条件に対応付けてある処理を実行することを特徴とする電子メール処理方法。

【請求項5】 複数の受信装置と接続してあり、印配受信装置長に実行すべき処理を予め設定しておき、通信網から入力された受信装置を指定したメッセージの受信に応じて予め設定した処理を実行するメッセージ処理システムにおいて、

受信銭置毎に、実行すべき処理と受信メッセージの内容 又はメッセージの受信状況に基づく前記処理の実行条件 とを対応付けて記述しておく音扱え可能な記述手段と、 受信メッセージに指定してある受信装置を識別する手段 と

受信メッセージの内容又はメッセージの受信状況が識別された受信装置に対応付けて前記記憶手段に記憶してある実行条件に合致するか否かを判別する手段と

台致すると判別した場合にその実行条件に対応付けてあ

- 稿 1-

特闘平9-223087

る処理を実行する手段とを備えることを特徴とするメッセージ処理システム。

【請求項6】 複数の受信禁煙と接続してあり、前記受信禁煙長に実行すべき処理を予め設定しておき、適度網から入力された受信装置を指定したメッセージの受信に応じて予め設定した処理を実行するメッセージ処理システムにおいて、

受倡鉄置毎に、実行すべき処理とキーワードとを対応付 けて記憶しておく音換え可能な記憶手段と、

受僧メッセージに指定してある受信鉄窗を識別する手段 と

識別された受信鉄器に対応付けて前記記憶手段に記憶してあるキーワードが前記メッセージに含まれるか否かを 判別する手段と

含まれると判別した場合にそのキーワードに対応付けて ある処理を実行する手段とを備えることを特徴とするメ ッセージ処理ンステム。

【語求項7】 複数の受信装置と接続してあり、前記受信装置毎に実行すべき処理を予め設定しておき、通信網から入力された受信装置を指定したメッセージの受信に応じて予め設定した処理を実行するメッセージ処理システムにおいて

受信鉄遺毎に、実行すべき処理と時間帯とを対応付けて 記憶しておく告換え可能な記憶手段と、

・メッセージの受信時刻を判定する手段と、

受情メッセージに指定してある受信鉄圏を識別する手段 と

識別された受信禁煙に対応付けて前記記憶手段に記憶してある、前記受信時刻が関する時間帯を識別する手段と

識別した時間帯に対応付けてある処理を真行する手段と を備えることを特徴とするメッセージ処理システム。

【請求項8】 複数のサーバと接続してあり、前記サーバ毎に実行すべき処理を予め設定しておき、通倡線から 入力されたサーバを指定した電子メールの受信に応じて 予め設定した処理を実行する電子メール処理システムに おいて、

サーバ毎に、東行すべき処理と受信電子メールの内容又は電子メールの受信状況に基づく前記処理の東行条件と を対応付けて記憶しておく告換え可能な記憶手段と、

受信電子メールに指定してあるサーバを識別する手段 と、

受信電子メールの内容又は電子メールの受信状況が識別 されたサーバに対応付けて前記記憶手段に記憶してある 真行条件に台致するか否かを判別する手段と、

台致すると判別した場合にその実行条件に対応付けてある処理を実行する手段とを構えることを特徴とする電子 メール処理システム。

【請求項9】 所定のユーザにメッセージの者信を通知 する方法において、 受信されたメッセージの内容及び/又は受信状況と、メッセージの者信を通知する手段及び追知内容とを接数のメッセージ受信鉄度毎に対応付けて、スクリプトデータベースに設定し、

メッセージを受信したとき、メッセージ中に含まれる受信者情報により前記復数のメッセージ受信基礎のうちの 一を識別し、

前記スクリプトデータベースに設定された、協別された メッセージ受信装置についてのメッセージの内容又は受 個状況が、受信されたメッセージ中に含まれるか否かを 判定し、

きまれると判定された場合に、前記内容又は受信状況に 対応付けられた通知手段及び通知内容に基づいて前記ユ ーザにメッセージの者信を通知することを特徴とするメ ッセージの者信を通知する方法。

【請求項10】 複数のメッセージ受信装置と接続して あるメッセージ処理システムにおいて

受信されたメッセージの内容及び/又は受信状況と、メッセージの若信を運知する手段及び通知内容とを、前記 複数のメッセーン受信装置毎に対応付けて設定されているスクリプトデータベースと、

受信メッセーンが指定する受信装置を説別する説別手段:前記スクリプトデータベースに設定された。説別されたメッセーン受信装置についてのメッセージの内容又は受信状況が、受信されたメッセージ中に含まれるか否かを制定する判定手段と、

全まれると判定された場合に、前記内容又は受信状況に 対応付けられた追知内容を前記ユーザに運知する。前記 内容又は受信状況に対応付けられた追知手段とを備える ことを特徴とするメッセージ処理システム。

【手統箱正2】

【補正対象合類名】明細書

【補正対象項目名】()()2()

【補正方法】変更

【補正内容】

【0020】第8発明に係る電子メール処理システムは、複数のサーバと接続してあり、前記サーバ毎に真行すべき処理を予め設定しておき、通信観から入力されたサーバを指定した電子メールの受信に応じて予め設定した処理を実行する電子メール処理システムにおいて、サーバ毎に、真行すべき処理と受信電子メールの内容又は電子メールの内容又は電子メールの改信状況に基づく前配処理の真行条件とを対応付けて記憶しておく生換え可能な記憶手段と、受信電子メールの内容又は電子メールの受信状況が識別する手段と、受信電子メールの内容又は電子メールの受信状況が識別する手段と、受信電子メールの内容又は電子メールの受信状況が識別する手段と、受信電子メールの対応付けて前記記憶手段に記憶してある処理を真行条件に合致するか否かを判別する手段と、合致するを真行な手段とを備えることを特徴とする。算り完明に係るメッセージの若信を通知する方法は、受信されたメッ

- 箱 ?-

**特開平9-223087** 

セージの内容及び/又は受信状況と、メッセージの者信 を適知する手段及び通知内容とを複数のメッセージ受信 **速慶毎に対応付けて、スクリプトデータベースに設定** し、メッセージを受信したとき、メッセージ中に含まれ る発信者情報により前記複数のメッセージ受信鉄圏のう ちの一を識別し、前記スクリプトデータベースに設定さ れた。強別されたメッセージ受信装置についてのメッセ ージの内容又は受信状況が、 受信されたメッセージ中に 含まれるか否かを判定し、含まれると判定された場合 に、前記内容又は受信状況に対応付けられた通知手段及 び追知内容に基づいて前記ユーザにメッセージの着信を 通知することを特徴とする。第10発明に係るメッセー ジ処理システムは、受信されたメッセージの内容及び/ 又は受信状況と、メッセージの者信を追知する手段及び 通知内容とを、前記複数のメッセージ受信装置毎に対応 付けて設定されているスクリプトデータベースと、受信 メッセージが指定する受信装置を識別する識別手段:前 記スクリプトデータベースに設定された、識別されたメ ッセージ受信装置についてのメッセージの内容又は受信 状況が、受信されたメッセージ中に含まれるか否かを判 定する判定手段と、含まれると判定された場合に、前記 内容又は受信状況に対応付けられた道知内容を前記ユー ザに追知する。前記内容又は受信状況に対応付けられた 通知手段とを傭えることを特徴と<u>する。</u>

【手統領正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正内容】

【0021】図6は第1発明、第4発明、第5発明及び 算8発明、第9発明、第10発明のメッセージ処理の概 念図であって、電子メールの岩信を通知する処理を表し ている。図において801及び602は電子メールを送 受信するサーバである。サーバ602、クライアント6 () 4、6() 4…は本発明に係る電子メールシステムを構 成している。サーバ602には電子メールを受信したク ライアント804、804…に対応付けて設定する実行 すべき処理の実行条件としてのスクリプトを記憶させて おくスクリプトデータベース603が設けてある。スク リプトはオペレータによりサーバ802の図示しない人 力手段により入力される。サーバ602は構内交換機6 () 6と接続している。機内交換級6() 6は図示しない公 **录電話網と接続している。公衆電話網にはボケットベル** センタ8()7及び電話機6()8が接続されている。ボケ ットベル605はポケットベルセンタ607から呼出さ れる。また電話機608は電話の着信により点灯するラ ンプを償える。

【手統領正4】

【補正対象合類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】変更

【補正内容】

【0026】次に、第3発明及び算7発明のメッセージ 処理による時間帯毎に処理を対応付けたスクリプトを使 用する場合について説明する。ここで9時から17時の 勤務時間中はボケットベル605を携帯し、17時以降 の勤務時間外には電話機608がある場所にいる者がク ライアント604宛の電子メールの若信を知る場合を想 定し、時間帯が9時から17時であればポケットベル6 05を呼出し、時間帯が17時から9時であれば電話機 608のランプを点灯させることを設定してあるものと する。サーバ601からクライアント604へ電子メー ルが送信され、サーバ602がこの電子メールを受信し たとき、サーバ602は発信時刻を判定して、この受信 時刻が届する時間帯を識別する。識別した時間帯が勤務 時間中であればボケットベルを呼出して電子メールの着 信を通知する。識別した時間帯が勃務時間外であれば、 **営託機608のランプを点灯させて電子メールの着信を** 通知する。

【手統領正5】

【補正対象会類名】明細雲

【補正対象項目名】0038

【補正方法】変更

【補正内容】

【0038】3盤のスクリプトは実行条件をクライアント112元に着信した電子メールの着信時刻が9時から17時の間であることと定め、この条件を満たす場合に実行すべき処理を所定のポケットベル123を呼出して定型文により電子メールの着信を通知することと設定してある。4番のスクリプトは実行条件をクライアント112元に着信した電子メールの者信時刻が17時から翌日の9時の間であることと定め、この条件を満たす場合に実行すべき処理を所定の電話級114を呼出して通知すると設定してあるものとする。

【手統領正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0044

【補正方法】変更

【補正内容】

【① 0 4 4】次に君信時刻が3番のスクリプトの時間帯(9時かち17時)に属するか否かを判別し(S304)。届さないと判別した場合は、4番のスクリプトの時間帯(17時から翌日の9時)に戻するか否かを判別する(S305)。君信時刻が4番のスクリプトの時間帯に戻する場合は、電話機114を呼出してランプを点灯させて電子メールの君信を通知する(S307)。

【手統領正7】

【補正対象合類名】明細書

【補正対象項目名】0045

【補正方法】変更

-箱3-

特開平9-223087

# (随正内容)

【0045】\$304において君信時刻が3番のスクリフトの時間帯に戻すると判別した場合はポケットベル123を呼出して電子メールの君信を追加する(\$306)。またこの例においては\$305によって着價時刻

が4番のスクリプトの時間帯に届さないと判別すること は有り得ないが、仮に全てのスクリプトの会件の中に台 致するものがない場合は、ポケットベル123又は電話 級114を呼出すことは行わない。